

図書館ミニ展示「2011.3.11 東日本大震災から8年」

東日本大震災（2011年3月11日）より8年が経ちます。昨年は「平成30年北海道胆振東部地震」（2018年9月6日）が発生し、北海道では大規模な停電にも見まわれました。展示では震災の記憶を風化させぬよう、当時の状況を記したものや、学術的な検証資料、また自身の身を守る防災のための資料などを集めました。図書だけでなく、当時の新聞も紹介しています。展示を機会に、いま一度、大震災について考えてみましょう。

なお図書館では、地震に対する利用者の安全確保のため、全学防災訓練に参加し緊急時に対応できるよう努めています。臨時休館などの緊急情報は、Twitter (@lib_josai) でお知らせします。

2019/2/28

請求記号	書名	著者名	出版年	出版社
361.7//O63	「被災世代」へのメッセージ：これまで、そしてこれから/「単身者本位社会」を超えて	大森 美紀彦	新評論	2016.4
369.3//A95	災害ボランティア：新しい社会へのグループ・ダイナミクス	渥美 公秀	弘文堂	2014.3
369.3//C39	大惨事と情報隠蔽：原発事故、大規模リコールから金融崩壊まで	Chernov Dmitry	草思社	2017.8
369.3//H99	世界と日本の災害復興ガイド	兵庫県震災復興研究センター	クリエイツかもがわ	2009.1
369.3//Ku14	災害に備える心理教育：今日からはじめる心の減災	窪田 由紀	ミネルヴァ書房	2016.10
369.3//Ma43	災害の経済学	馬奈木 俊介	中央経済社	2013.4
369.3//N37	防災コミュニティ：現場から考える安全・安心な地域づくり	中村 八郎	自治体研究社	2010.4
369.3//U94	防災に役立つ地域の調べ方講座	牛山 素行	古今書院	2012.11
369.3//Y31	災害ボランティア入門：実践から学ぶ災害ソーシャルワーク	山本 克彦	ミネルヴァ書房	2018.4
369.3//Y45	自然災害ハンドブック：災害時のパニックを避け、大切な命を守るために!	山と溪谷社	山と溪谷社	2011.5
369.31//C45	震災のときあったらいいもの手帖：体験したから伝えられる知恵103	チーム住まいと暮らし	住まいの学校	2016.5
369.31//F74	大震災とメディア：東日本大震災の教訓	福田 充	北樹出版	2012.4
369.31//I91	できることをしよう。：ぼくらが震災後に考えたこと	糸井 重里	新潮社	2011.12
369.31//Ku34	平成28年熊本地震 大学避難所45日：障がい者を受け入れた熊本学園大学震災避難所運営の記録	熊本学園大学	熊本日日新聞社	2017.11
369.31//N31	あなたの都市に地震が来たらどうしますか?：いざというときのための備えと工夫の「都市防災」。：45分でわかる!	中林 一樹	マガジンハウス	2011.10
369.31//Ta84	東日本大震災と社会学：大災害を生み出した社会	田中 重好	ミネルヴァ書房	2013.3
369.31//Y45	ドキュメント御嶽山大噴火	山と溪谷社	山と溪谷社	2014.12

震災に関する図書の多くは、3階の「369・31」の棚にまとまっています

369.31

請求記号	書名	著者名	出版年	出版社
369.36//Ta74	3・11後を生きるきみたちへ：福島からのメッセージ	たくき よしみつ	岩波書店	2012.4
369.36//U96	原子力損害賠償の法律問題	卯辰 昇	金融財政事情研究会	2012.1
453.21//O32	日本列島の巨大地震	尾池 和夫	岩波書店	2011.10
453.21//U92	大地震：古記録に学ぶ	宇佐美 龍夫	吉川弘文館	2014.9
453.212//H32//1-2	東日本大震災津波詳細地図	原口 強	古今書院	2011.10

城西大学水田記念図書館